

パシフィック・トレンドズ 地域との繋がりを深める *Pacific Trends Strengthens Local Partnerships*

January 29, 2019

By Senior Airman Matthew Gilmore
374th Airlift Wing Public Affairs

曲が終わると、一同は感謝と喜びに満ちた目を輝かせ、リズムに合わせて手拍子をとっていた。躊躇することもなく、そこに集った人々は「アンコール！」と連呼した。彼らの期待に応え、もう1曲ほど続けられた。そこに集った人々の体験は、心に長く刻まれるに違いない。

1月25日、会場となったのは、コンサートホールではなく、武蔵村山市にある特別養護老人ホーム むさし村山苑。馴染みのあるさまざまなスタイルの音楽を演奏する米空軍太平洋空軍音楽隊「パシフィック・トレンドズ」は、40分に渡って施設の入居者にロック・ミュージックを披露した。

「まさにこのような公演が好きだ。地元地域に出かけ、人々と直接会って交流できるのは実に特別なこと。曲を聴いてくれる人々と、音楽そして個人レベルで繋がれる」とパトリア・ペレス上級曹長は述べた。

始めから終わりまで、音楽隊の演奏はそこに集った人々にとってかけがえないものだった。全ての演奏が終わると、(施設の)入居者の一人がとても感激しながら、音楽隊のメンバー一人一人と握手を交わし、感涙して「ありがとうございました」と言葉を繰り返した。

「そのような時、言葉には表せない気持ちになる。(音楽には)物凄い力があるのだと感じる。お互いに話す言語は違うけれど、音楽を通じて彼女とその時を共有することができた」とペレス上級曹長は述べた。

同音楽隊は人々と心を通わす公演を、日本で80回以上、管轄地域内でさらに120回行っている。

「音楽隊の私たちにとって、コンサートは音楽隊を代表するだけでなく、空軍の顔としての役割を担う機会だと思っている。人々に空軍について知ってもらう機会であり、私たちの曲は私たちからのメッセージだ。そのメッセージで、私たちの国のパートナーと多くの力強い絆を共有できる」とパシフィック・トレンドズのボーカリスト、クリスティン・フォレイ曹長は述べた。

